

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

[平成29年4～6月期の景況／平成29年7～9月期の見通し]

宇部市内における中小企業の業況は、緩やかに減少している

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2017年4～6月期の実績と2017年7～9月の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から▲7.7%の減少となった。業種別では建設業が前回の3.45%から▲19.2%へ、卸売業が▲5.6%から▲20.0%へと悪化した。また小売業は▲27.8%から▲33.3%、製造業は▲15.0%から▲21.1%へと微減し、サービス業は▲29.2%から▲16.7%へ好転した。

来期の新規設備投資については、▲7.6%減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、建設業が4期連続で「従業員の確保難」が上位となり、全業種において「需要の停滞」が上位へと入る結果となった。

DI(デフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

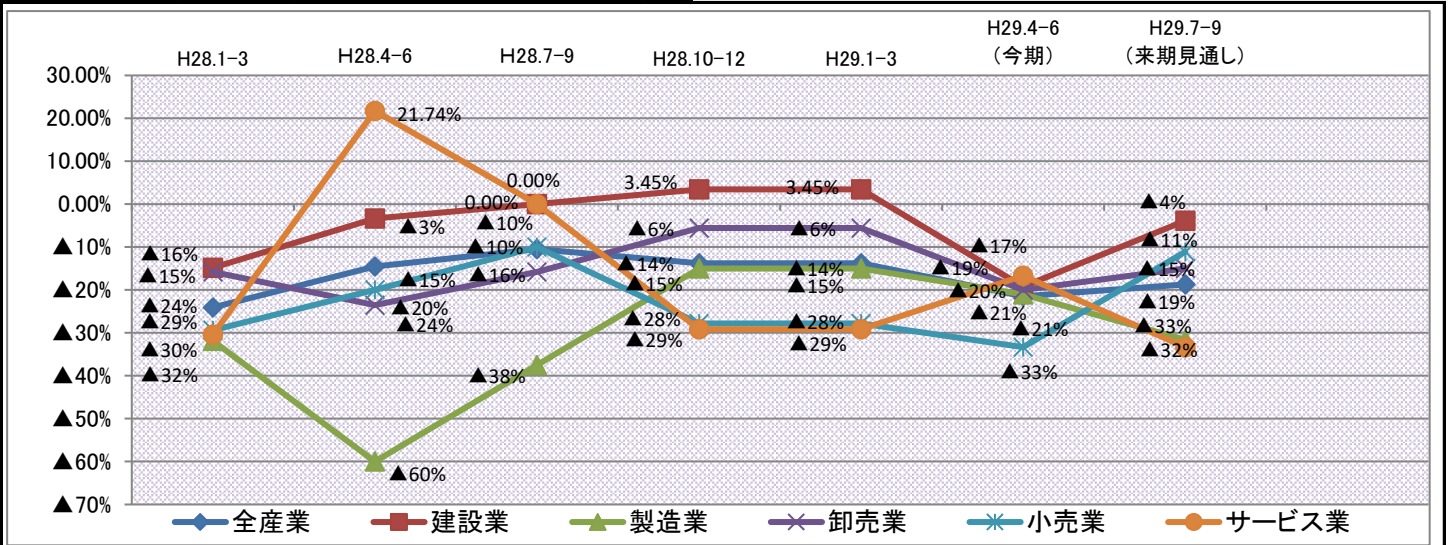
DATE

- 調査期間: 2017年5月25日～6月6日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業137社
- 有効回答企業数: 110(80.29%)

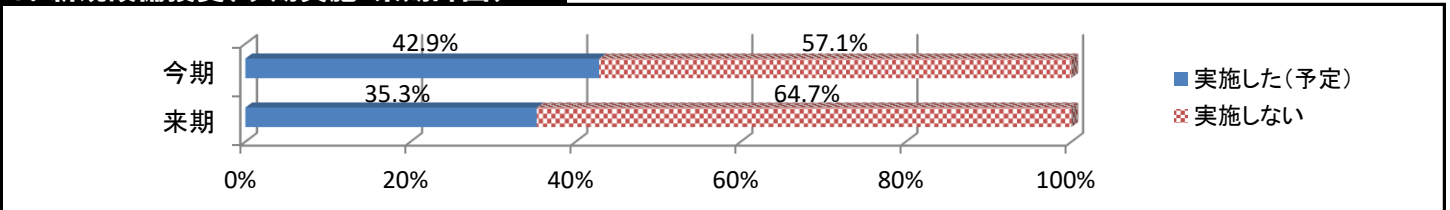
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲21.5%	▲7.7%	▲20.2%	▲14.7%	▲9.3%	▲2.9%	▲17.4%	0.92%	4.63%	11.05%
建設業	▲19.2%	▲22.7%	▲19.2%	▲15.8%	▲11.5%	▲18.4%	▲15.4%	▲4.7%	0.00%	10.34%
製造業	▲21.1%	▲6.1%	▲10.0%	▲10.0%	▲10.0%	5.79%	▲15.0%	16.58%	25.00%	35.00%
卸売業	▲20.0%	▲14.4%	▲15.0%	▲20.3%	0.00%	5.26%	▲10.0%	▲4.7%	0.00%	0.00%
小売業	▲33.3%	▲5.6%	▲36.8%	▲20.2%	▲15.8%	5.26%	▲26.3%	▲10.5%	0.00%	▲5.6%
サービス業	▲16.7%	12.50%	▲20.8%	▲8.3%	▲8.7%	▲4.5%	▲20.8%	8.33%	0.00%	12.50%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 20.3%	需要の停滞 17.5%	販売単価の低下・上昇難 16.7%	消費者ニーズの変化への対応 17.3%	従業員の確保難 18.3%
2位	熟練技術者の確保難 13.5%	製品ニーズの変化への対応 10.5%	仕入単価の上昇 16.7%	需要の停滞 15.4%	需要の停滞 13.3%
3位	民間需要の停滞 13.5%	原材料価格の上昇 10.5%	従業員の確保難 16.7%	販売単価の低下・上昇難 9.6%	利用者ニーズの変化への対応 11.7%
4位	材料価格の上昇 10.8%	製品(加工)単価の低下・上昇難 10.5%	需要の停滞 13.0%	仕入単価の上昇 9.6%	熟練従業員の確保難 10.0%